VOL
89
令和８年
11月１日号

むらかみ 市議会だより

contents

特集 2
９月定例会
一般質問 4
主な議案 10
議案の審議結果 12
この人にインタビュー 16



受け継がれる伝統と地域の宝
～瀬波大祭　こどもたちのがんばり～



今号の表紙　写真提供：(上)瀬波浜町町内、(下)有限会社いわふね新聞社
乗り子不足解消のため、瀬波浜町では初めて未就学児が頑張りました。（来年も募集中！）

村上市

特集 R7決算審査

歳入 457億円 歳出 423億円 認定

令和7年度一般会計歳入歳出決算認定が、全議員で構成される一般会計予算決算常任委員会に付託され、総務文教・市民厚生・経済建設の各分科会で、所管ごとに審査を行いました。

各分科会での決算審査のうち、主な質疑を紹介します。

歳入

新しい地方経済・生活環境創生交付金　874万円

問 防災用トイレカー導入後の利用状況と一般貸出の対応方針は。

答 災害時だけでなく、元旦マラソン、笹川流れマラソン、村上大祭など各種イベントで活用されているほか、一般貸出可能で、利用者はくみ取り手数料のみを負担する仕組み。

地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金　1,745万円

問 本市の部活動の地域展開は全国から注目されているが今後の展開は。

答 3か年で地域展開を進めてきているが、子どもたちの夕方の居場所という課題に対して今後も体制整備を進めていきたい。

市税収入未済額　1億7,586万円

問 収入未済額が昨年度より減少しているが、主な要因は。

答 市税の徴収率が、前年度より0・12ポイント上昇した。オンラインによる預貯金照会システムを活用した迅速な差押えや、県との合同調査、催告書の発送などが徴収率向上につながった。

戸籍住民基本台帳手数料　1,903万円

問 戸籍等の交付手数料のうち、コンビニでの交付手数料は。

答 住民票等のコンビニ交付は3万6699件中1万710件で、全体の29・1％を占めた。税務関係のコンビニ交付は3・9％だった。

戸籍住民基本台帳費委託金　135万円

問 中長期在留者住居地届出等で、現在の市内の外国人の状況は。

答 外国人の人口は増加傾向で、8年4月1日現在で564人（7年449人、6年352人）。国籍別ではベトナム、インドネシア、中国が多い。

市営住宅使用料　2,566万円

問 公営住宅の家賃滞納にはいろいろな事情があると思うが、場合により生活保護などの支援制度の紹介も必要では。

答 入居者の事情に寄り添って、しっかりとサポートしていきたい。

ふるさと納税寄附金　7億9,187万円

問 ふるさと納税は6年度と7年度でほぼ同額だが、8年度の状況は。

答 7年度は米の値段が高く、本市でも米の返礼品を対象に多くの寄附をいただいたが、8年度は年度当初から例年並みと受け止めている。

問 ふるさと納税に係るポータルサイト手数料の見直しについて、国から示されているが。

答 各サイト運営事業者からは、現状維持という回答を受けている。

歳出

ESP業務委託料　197万円

問 ESP（エネルギーサービスプロバイダ）業務委託料の費用対効果は。

答 高圧電力を使用している市内21施設で年間約1400万円の削減効果が生じ、電力コストの最適化に一定の成果と継続的な効果が期待できる。

支所緊急対応経費　1,993万円

問 地域からの要望への対応を予算的にどう考えているのか。

答 地域からの要望は多いが、緊急性の高い案件

から順次対応している。増額議論はあるが、早期対応は事業費予算で実施する。

生活交通確保対策事業経費 2億3,815万円

問 経費は収支率で計上しているが、乗車1人当たりの経費は出せないか。

答 正確な1人当たりの経費が算出できない点が課題であり、今後もバス事業者と集計方法を協議していく。

問 新発田病院通院対応乗り合いタクシーの1人当たりの経費を下げることはできないか。

答 10月から坂町病院～村上病院間の市内利用を可能とし、名称変更も検討しながら利用増を図りたい。

小中学校施設改修経費 4億917万円

問 小中学校合わせて特別教室へのエアコン設置状況と今後の計画は。

答 7年度に中学校7校に設置し、全体の設置率は39・51％で今年度小学校2校が完了すれば42・44％となる。授業で使う教室への設置を進めていく。

小中学校管理費 3億3,401万円

問 学校給食で使用する米の調達先について、地元のJAや農家からではなく学校給食会からとなっている理由は。

答 地元業者では精米した状態の納品対応ができないため、学校給食会から調達している。地元業者からの納入の検討を行うとともに、農業法人から納入している自治体を視察するなど、さらに検討を進める。

老人ホーム運営経費 1億1,434万円

問 やまゆり荘について、建物の老朽化に伴い、移転を検討していきたいとのことだったが、現状は。

答 建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいる。また、定員50名に対し、現在31名が入所しているが、現在の制度に適合しない部分もある。現在の指定管理期間を目安に、施設の方向性を検討していきたい。

基幹相談支援センター経費 2,979万円

問 センターの相談件数や相談内容は。

答 7年度の相談件数は、電話776件、訪問330件、同行149件など、合計1874件だった。発達や知的など相談内容に合わせて、専門職員が支援策を検討し伴走支援などを実施している。

病院物価高騰対策緊急支援金 1,536万円

問 山北地域において、徳洲新会病院は非常に重要な医療機関である。支援等の状況は。

答 物価高騰対策としてエネルギー・燃料・ガス料金への助成を行っている。今後の支援については病院と協議を進めている。

厚生連病院緊急支援事業補助金 7,000万円

問 村上総合病院への支援金は年々2倍、3倍に増えているが、将来的な見込みは。

答 今後の地域医療構想や厚生連病院が所在する関係自治体との協議を踏まえて対応を検討していきたい。

有害鳥獣対策経費 3,712万円

問 有害鳥獣対策として、AIカメラを試験導入しているが、その状況は。

答 事業所の協力で無償設置しているが、クマ等の対象物を認識するAIの精度向上に向けて調整中である。

ふるさと納税経費 3億7,739万円

問 ふるさと納税経費で、歳入に対して経費が47・65％となっている。国は各ポータルサイト事業者に手数料の引き下げを要請しているが、本市への影響は。

答 国は経費率を段階的に4割に引き下げるとしているが、現時点では手数料の引き下げに至らず、経費の縮減に向けてさらなる検討が必要だと考えている。

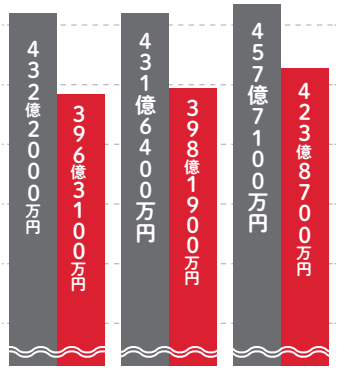
道路維持管理経費 1億1,663万円

問 道路の陥没が全国的に発生し、新潟県は全国で2番目に多いと言われているが、本市の状況は。

答 7年度の陥没は14件である。全国的に問題となった下水道管に起因するものはないが、側溝や集水桝の老朽化による道路下の路盤材などの吸い出しが主な原因である。

過去3年間の決算推移

※金額は100万円未満四捨五入で記載しています。



	R5年度	R6年度	R7年度
基金・市債	基金 57億 4600万円	基金 57億 1600万円	基金 66億 3400万円
	市債 323億 6700万円	市債 323億 5300万円	市債 337億 7500万円

一般質問

市政のここが聞きたい！

―9月定例会―

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

1【新緑会】姫路　敏

1 有害鳥獣について
2 環状3号線整備について
3 村上駅前の開発について

2【至誠クラブ】富樫雅男

1 ゼロカーボンビジョンの進捗と課題について
2 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種について

3【令和新風会】佐藤憲昭

1 本市における農業（米）政策の現状と今後の方向性について

4【新緑会】菅井晋一

1 道の駅朝日のリニューアル工事について
2 小学校の水泳授業について

5【新緑会】富樫光七

1 畜産臭気問題における住民生活の保全と、持続可能な畜産業の育成について
2 村上市における林業振興と市営中川原住宅改築について

6【新緑会】上村正朗

1 子どもに対する支援について

7【至誠クラブ】渡辺　昌

1 投票時間一元化と開票開始の繰上げについて

8【高志会】尾形修平

1 道の駅朝日リニューアル整備事業について
2 市道の維持管理と景観について

9 野村美佐子

1 災害時の避難所について
2 学校給食について
3 熱中症対策エアコン設置費補助事業について

村上市議会では、インターネットで議会中継の動画配信を行っています。本会議当日は生中継、録画中継は本会議終了後概ね5日後（土、日曜日、祝日を除く）からご覧いただくことができます。ご家庭などでお気軽にご覧ください。



ジビエで旧校舎の復活を



姫路　敏

答 大切な提案であり、前向きに検討する

問 前回6月定例会の一般質問で、旧上海府小学校を利用して、クマ・イノシシの解体場の設置、そしてジビエ料理を提供する食堂などとして、市民および観光客向けにリニューアルしてみてはどうかと提案したが、その後検討はされたのか。

答 現在、敷地内をクマ・イノシシの解体場所として活用する方向で進んでいる。提案のあったジビエ食堂へのリニューアルについては、施設の利用状況なども踏まえつつ、まずは解体設備としての機能が十分に発揮できるかなど、地元住民や猟友会などの意見を聞きながら、取り組みを進める予定である。

問 グラウンドは屋根付きのバーベキュー広場として提案したいと思う。先般、紫雲寺記念公園のバーベキュー広場に行って来たが、子どもの遊べる広場も併設してあり、多くの家族連れや利用者でにぎわっていた。参考にするべきであると思うが。

答 旧上海府小学校はロケーションも良く、以前はキャンプ場設置についても提案をいただいたことがある。例えばジビエのレストランやカフェ等での利用も考えられる。

問 人口減少と高齢化の進む中、上海府地区の活性化には、小学校の跡地利用は不可欠である。上海府地区の活性化のためにもぜひ前向きに考えていただきたい。

答 今回の提案については、今後もしっかりと検証していく。



ジビエで再生を待つ旧上海府小学校

肺炎球菌感染症対策を！



富樫 雅男

答 ワクチン接種費用の負担軽減を検討したい

問 高齢者は肺炎球菌感染症にかかりやすく、全国の死亡者数は年間に7万6千人とされ、その98％は65歳以上の高齢者である。今年度から定期接種は予防効果、持続性が優れる20価型のワクチンに変更されたが、65歳に限定された。市内の接種率と、未接種者へのフォローアップは。

答 接種率は6年度が13％、7年度は29％だった。接種対象の65歳の方には誕生月の翌月に文書で周知しているが、任意接種のため未接種者への通知は行っていない。

問 本市では自己負担額が7920円と、従来よりも大幅に上がったが、接種費用の3割は普通交付税として国から市に交付され、財政負担は少ない。県内自治体も同額だが、近県ではほとんどが半額以下の自己負担額であり、各自治体が独自に決めている。なぜ県内は一律なのか。

答 県と県医師会で設定した金額を参考にしている。



65 歳の方は忘れずに接種しましょう！

問 全国平均の接種率は40％であり、感染して入院した場合は18日間の入院で、医療費は95万円と非常に高額になると言われている。費用対効果を考えると、自己負担額を軽減して接種率を上げることは、市の財政を考えても重要と考える。また、70歳の方への経過措置は厚労省で見送られたため、65歳を過ぎて接種すると全額自己負担で、1万2千円と高額になる。補助制度の考えは。

答 70歳の方のリスク管理と他自治体の状況を踏まえて検討したい。

米価下落と減税対応は

佐藤 憲昭



答 国の給付金を注視し、市の支援策を検討する

問 米価乱高下と消費税減税が農業経営へ与える影響はどうか。

答 小規模農家は免税事業者が多く減税で売上の税込み収入が減少する一方、資材の10％課税は継続し手取りが減る。国の給付金を注視しつつ、情報収集し、支援策を検討する。

問 既に概算金下落・資材高騰・租税増の三重苦。市独自の資金繰り支援や資材高騰対策を予算化する考えは。

答 基幹産業として米生産を支える必要があり、個別支援の在り方を検討する。

問 米需要構造の変化に対し、市の政策転換の考えは。

答 主食用米だけでなく非主食用米も含め多様な米づくりを推進している。消費動向や国策変化を迅速に把握する。

問 担い手不足と農地維持の中長期戦略は。

答 地域計画を策定し毎年更新している。新規就農支援や農福連携で担い手を確保し、中山間地域を含む農地を直接支払制度等で維持していきたい。

問 食料安全保障における自治体農政の新たな役割は。

答 農業者確保と農地継承が最重要。新規就農者育成、農地集積、スマート農業推進、循環型の地域連携を進める。

問 ふるさと納税寄附金の一部を農地保全基金等へ充当する仕組みは考えられないか。

答 岩船産米を応援したいという気持ちに応える仕組みづくりも検討していきたい。



米価の乱高下等不安を胸に空を見ながら収穫は続く

進まない道の駅朝日の工事

菅井 晋一



答 １年半の遅れと７億円の増工

問 設計事業者の設計ミスで工事が遅れ、大幅な工事費の増額と聞くが、その原因は。

答 設計者が地質調査の結果を構造計算に正しく反映させなかったことが原因である。杭打ち等の基礎工事の追加で２億７千万円。埋設物の撤去、安全対策、消雪パイプ工事で３億３千万円、備品購入で１億円、計７億円の増額を見込んでいる。

問 荒川総合体育館の工事でも設計ミスで４億６千万円が８億円を超える工事となった。発注前に第三者機関に検証してもらう仕組みを構築する議論があったが、今回もしなかったのか。

答 今回は誤った設計書を設計事業者が修正し、その後に県の建設技術センターに助言をいただいた。

問 33億円もの工事に対して、あまりにも甘い考えで工事に着手している。昨年10月に発注したが、いまだに建築確認が下りてない。現場は工事着手できないのではないか。

答 5月18日に申請し、10月末に確認が下りる見込み。しっかり反省し取り組みをさらに加速する。

問 現在、観光バスや大型車両は進入禁止となっている。工事の進め方に問題はないのか。

答 お客さまの安全確保と的確な誘導の徹底を最優先し、受注業者や関係機関とも密に連携を図り、仮設駐車場の利便性向上やわかりやすい案内表示などの改善に取り組み、影響を最小限に抑える対策を講じている。



国土交通省の道の駅工事は予定どおり、来年９月完成に向けて工事が進む

市営住宅改築工事計画、再考の余地は

富樫 光七



答 現時点で変更・再検討する考えはない

問 市営中川原住宅改築工事は、国や県が公共建築物の木造化を強力に進める中、RC造（鉄筋コンクリート造）の38戸で事業費が約18億円の計画である。地元木材での木造化を比較検討できないか。

答 民間アパートの活用や他の場所での建替えも検討してきたが、住民からの強い要望を受けて現地での建替えを決断した。しかし、浸水想定区域のため、木造は難しくRC造で計画し、議会にも都度報告してきた。



地産地消　地材地消

問 約18億円の事業費は今年2月に発表したばかり。住宅着工数の減少で地元工務店や大工、林業・製材業が厳しい一方、土木業者は多忙である。また、木造なら地元木材を活用し、地産地消と経費削減を図りつつ事業費を抑えられる可能性も考えられるが、比較検討すべきでは。

答 相当長い時間をかけてプロセスを踏んできたもので、現時点で変更・再検討する考えはない。

問 畜産臭気について、関係集落と事業者、市で公害防止協定を結び、懇談会も毎年開催しているが、悪臭指数が下がらず住民は困っているが。

答 必要に応じて事業者に臭気対策を講じるよう指導している。今後も現場に足を運び、状況を確認する。

問 佐々木集落が悪臭防止法の規制地域外となっているが。

答 三者で公害防止協定を結んでいるが、住民の意見を聞き、必要であれば指定を検討する。

不登校への理解の促進を

上村 正朗



答 市報やホームページ、SNS 等で周知したい

問 小・中学校における不登校の現状と支援は。

答 不登校児童生徒数は、7年度で、小学校では37人、中学校では78人である。指導主事等の訪問による学校支援と、市教育支援センターや校内教育支援センターによる児童生徒や保護者への支援等を行っている。

問 保護者の会と連携すべきでは。

答 今後、連携を図っていきたい。

問 困った時の相談窓口は。

答 市内に5か所ある教育支援センターに気軽に相談してほしい。

問 フリースクール利用料を助成すべきでは。

答 どんな支援ができるか検討したい。

問 校内教育支援センターに専任の職員を配置すべきでは。

答 非常に大事な場のため、充実した人の配置をしなくてはならないと考えている。



多様な学びの場を

問 高校における不登校の現状は。

答 福祉課の総合相談室等に寄せられる個別の相談を通じ、実態やニーズを把握している。

問 高校中退者等の支援の現状は。

答 下越地域若者サポートステーション村上常設サテライトと連携して支援を行っていく。

問 高校生世代に対する支援体制を構築する際の担当課は。

答 福祉課が担当し、不登校支援セミナーの開催や伴走支援センターみかんと連携した支援等を行っていく。



投票時間の一元化を

渡辺　昌

答 現状を踏まえ見直しの必要性を検討する

問 住む地域によって投票時間に2時間の開きがあり、地域格差や不公平感が懸念されるが。

答 基本的に市町村合併以前からの踏襲であり、地域の実情により設定され定着している。先に策定された投票区・投票所の見直し計画に基づき、有権者数の状況等から投票時間が適正か検証を続けていく。

問 本市における期日前投票の現状や、今後の見通しは。

答 期日前投票が定着し増加傾向にあり、5月の県知事選挙では当日と期日前の投票者がほぼ同数であった。今後も増加していくと考える。

問 投票管理者や投票立会人の確保に課題は。

答 長時間にわたる従事となり、年齢や体力などを理由に交代される方もいる。人口減少と高齢化が進む中で人材の確保が課題となっている。

問 投票時間に関する市民の意見を把握するため、アンケート調査が必要ではないか。

答 時間帯別の投票者数などのデータを参考に、投票機会確保の観点から基準見直しの必要性について検討しており、現時点ではアンケート調査の実施予定はない。

問 期日前投票制度の定着、事務負担軽減や投票時間の地域格差解消を図るため、投票時間の一元化と開票時間の前倒しを議論すべきでは。

答 今後、選挙管理委員会で議論していきたい。



深夜におよぶ開票作業。持続可能な選挙運営へ投開票時間の見直しが必要



きれいな街をめざして

尾形 修平

答 観光文化都市として景観に配慮は必要である

問 本市は約1500キロメートルに及ぶ市道を有しているが、維持管理が十分とは言えない状況であると考える。今後の管理体制はどのように考えているのか。

答 側溝等の清掃に関しては、人口減少や高齢化が進む中、地域住民の皆さまの負担が深刻化している。今年度から側溝清掃補助金を新設し、高圧洗浄車等を利用して、住民の負担軽減を図る支援を始めたところである。

問 市街地では雑草の繁茂が多々見受けられる。景観・美観的にも改善すべきと考えるが。

答 目につきやすい場所での雑草の繁茂は本市の印象を損ねることから、本件は重要な課題であると受け止めている。主要な観光動線を特に念頭に置き、公共空間の維持管理を徹底していきたい。また、市民の皆さまや各種団体との美化活動における連携も一層強化し、地域一体となって取り組んでいきたい。

問 ごみのポイ捨てが横行しているが、本市でのごみの散乱等防止条例は機能しているのか。

答 管理不全な空き家等に関しては、助言・指導を行っており、おおむね改善が図られてきている。しかしながら、ごみのポイ捨て対策に関しては、なかなか難しい現状である。市民の環境に対する意識の向上を図るとともに、抑止力となる環境整備と看板等の設置を進めていく。



景観・美観を損なう　ごみのポイ捨て

災害時の避難所環境の状況は

野村 美佐子



答 誰もが安心して避難できる環境づくりに取り組む

問 **指定避難所になっている学校体育館のエアコン設置の現状は。**

答 設置している体育館はないが、必要性は認識している。整備の優先順位や手法の検討を進めている。

問 **豪雨災害は夏場が多い。学校体育館の空調整備の早期実現に向けて、より有利な国の補助制度となったが。**

答 制度については承知しているが、指定避難所については今ある資源を共助の視点で活用し、エアコンのある教室に避難してもらうなどが必要だと考えている。

問 **三条市のハイブリット型冷暖房システムを視察したと聞いたが。**

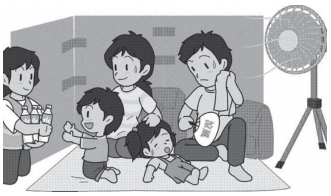
答 電気エアコンと輻射パネルを併用したシステムで、外気が35度で体育館は27度、小さめの体育館は24度だった。エアコンだけの整備費は平均で約8千万円とのこと。今後の導入については、収容人数や人口集中度なども踏まえて随時検討している。

問 **災害時の物資の供給や運営は。**

答 迅速な対応ができるよう、職員の避難所開設訓練を重ねている。各施設での備蓄に加え、備蓄拠点施設からの輸送や不足する場合には協定締結している民間事業者から速やかに供給できる体制を構築している。

問 **在宅の要介護者の福祉避難所への直接避難の体制整備は。**

答 個別避難計画策定をケアマネジャーに委託して進めている。本人や家族の意向、施設の受け入れ態勢とのマッチングなどを検討している。



体育館の空調整備は住民のいのちを守る自治体の責任

令和７年度　行政視察受け入れ状況

村上市議会では他市議会などからの行政視察の受け入れを行っています。令和７年度には次のとおり 13 議会を受け入れました。

No	視察日	議会名	視察内容
1	5月15日	東京都荒川区議会（17人）	「鮭のまちで学ぶ森林・自然体験ツアー」について 村上市歴史的風致維持向上計画について 村上市における無電柱化の取組について
2	5月21日	鹿児島県鹿屋市議会（9人）	部活動の地域移行の取組について
3	5月22日	大分県豊後高田市議会（5人）	歴史資源を活用したまちづくりについて
4	7月 8日	栃木県那珂川市議会（10人）	部活動の地域移行について / 訪問介護支援について 屋内遊び場について
5	7月23日	京都府京丹後市議会（会派）（4人）	スケートパークについて 介護報酬引き下げに対する市の対応について
6	10月 9日	新潟市議会（会派）（3人）	防災タブレットについて
7	10月21日	長野県下諏訪町議会（7人）	訪問介護サービス維持に向けた取組について
8	10月21日	福井県福井市議会（11人）	流域治水の取組について
9	10月28日	神奈川県山北町議会（7人）	議会改革について / ボランティアタクシーについて 廃校活用について（交流の館 八幡） / 訪問介護について
10	10月30日	群馬県安中市議会（8人）	議会だよりの編集について
11	11月 5日	神奈川県川崎市議会（会派）（2人）	訪問介護事業について / 難聴者補聴器助成制度について
12	11月 7日	山形広域環境事務組合（23人）	エコパーク村上について
13	1月28日	群馬県邑楽郡町村議会議長会（10人）	市民協働のまちづくり
計	13議会（延べ116人）		

Main proposals

9月定例会

令和8年村上市議会9月定例会は、9月2日から30日までの29日間の会期で開かれました。

この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案36件、議会側提案の請願や議員発議など5件が提出されました

議第105号　村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び村上市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

子育て支援のさらなる充実へ



問 こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の利用状況は。

答 １名から申請があり、認定したが実際の利用はなかった。市ホームページやＳＮＳ等での広報を継続しながら、時間的な部分などのニーズも確認し、次年度以降につなげていきたい。

議第108号　村上市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について

認可地縁団体となるメリットを確認

問 市内の地縁団体の現状は。

答 地縁団体数は自治会数274のうち、199となっている。認可地縁団体になる最大のメリットは土地を登記できることであり、集会所施設や共有地などが当時の区長などの役員での共有名義になっていたものが、代替わりなどで所有権が曖昧になってしまうことを防ぐことができる。

議第109号　村上市森林公園設置条例の一部を改正する条例制定について

森林公園廃止後は国有林として返還



問 森林公園として廃止後の取扱いは。

答 国有林を借りて整備している公園のため、現状復旧のうえ国に返還することになる。

議第113～119号　公の施設に係る指定管理者の指定について

時代の変化を考慮した公園管理の方向性を検討

問 人口減少などに伴い、維持管理が困難であるとして地元が放棄したような事例はあるか。

答 現時点ではそういった事例はないが、今後の課題になってくると認識している。

問 草刈り等の維持管理がしっかりされている場所もあれば、そうでない場所も見られるが利用実態は。

答 必ずしも子どもだけの利用ではなく、集落行事等での使用もあり場所によっては登山者の利用もある。基本的にはしっかりと管理いただいているが、場合によっては再度お願いする場合もある。

令和８年度一般会計補正予算

統合保育園整備事業のスケジュール変更の影響は

統合保育園整備事業経費

問 村上駅前に整備予定の統合保育園整備スケジュールが変更となるが、市の負担は当初の計画と変わりはないか。

答 上限額の補助金を整備事業者に交付する形になっているが、物価高騰等により国の補助金分が毎年増額しているため、その増額を見込み年度割を変更している。

介護施設でも災害への備えを

地域介護・福祉空間整備事業経費　1,662万円



問 この新規事業は、防災・減災あるいは感染症対策での整備とのことだが、これは施設への補助か。

答 今回は非常用自家発電設備を整備した２つのグループホームへの補助である。

物価高騰対策支援として消費を喚起

物価高騰対応重点支援事業経費　2,300万円

問 宿泊施設応援事業として、宿泊予約サイトで割引クーポン券の配布を計画しているとのことだが、具体的な内容は？

答 詳細については検討中だが、現在県で実施してる「にいがた GoTo トラベル」が年末まで実施中のため、時期が重ならないよう検討している。

道の駅朝日リニューアル整備工事の状況は

道の駅朝日拡充事業経費

問 道の駅朝日リニューアル工事について、設計事業者の設計誤りなどで約７億円の増額となり、そのうちの２億７千万円が地盤改良のための杭工事とのことだが、現在計画中の市営中川原住宅改築工事の杭工事と比較して高額ではないか。



答 地盤調査の結果も踏まえて、市営中川原住宅改築工事での杭工事は深さ 3m の杭を 32 本設置予定だが、道の駅朝日は地盤の状況が悪いため、深さ 7m で 680 本設置予定である。２億７千万円の内訳として、その費用が１億４千万円で、さらに工期延長により関連する工事の諸経費増額分が１億３千万円である。

議案審議結果

◎＝全会一致で可決、承認、採択　○＝賛成多数で可決

議案番号	議案名	結果
請願第４号	非核三原則の堅持を求める意見書の採択を求める請願書	◎
請願第５号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出を求める請願	◎
議員発議第８号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出について	◎
議員発議第９号	私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上を図るため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	◎
議員発議第10号	私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上を図るため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	◎
議第105号	村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び村上市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第106号	村上市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第107号	村上市妊産婦の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第108号	村上市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第109号	村上市森林公園設置条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第110号	公の施設に係る指定管理者の指定について（林産物展示販売施設）	◎
議第111号	公の施設に係る指定管理者の指定について（農産加工所）	◎
議第112号	公の施設に係る指定管理者の指定について（朝日シルクフラワー製作工房）	◎
議第113号	公の施設に係る指定管理者の指定について（浜新田農村公園）	◎
議第114号	公の施設に係る指定管理者の指定について（四日市農村公園）	◎
議第115号	公の施設に係る指定管理者の指定について（鋳物師農村公園）	◎
議第116号	公の施設に係る指定管理者の指定について（大関農村公園）	◎
議第117号	公の施設に係る指定管理者の指定について（下渡農村公園）	◎
議第118号	公の施設に係る指定管理者の指定について（門前せせらぎ公園）	◎
議第119号	公の施設に係る指定管理者の指定について（大津農村公園）	◎
議第120号	公の施設に係る指定管理者の指定について（海府ふれあい広場）	◎
議第121号	令和8年度村上市一般会計補正予算（第4号）	○
議第122号	令和8年度村上市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎
議第123号	令和8年度村上市上水道事業会計補正予算（第2号）	◎
議第124号	令和8年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	◎
議第125号	令和8年度村上市下水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議第126号	令和7年度村上市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
議第127号	令和7年度村上市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第128号	令和7年度村上市情報通信事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第129号	令和7年度村上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第130号	令和7年度村上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第131号	令和7年度村上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第132号	令和7年度村上市上水道事業会計決算認定について	◎
議第133号	令和7年度村上市簡易水道事業会計決算認定について	◎
議第134号	令和7年度村上市下水道事業会計決算認定について	○
議第135号	令和8年度村上市一般会計補正予算（第5号）	◎

※網掛けの議案は下段に賛否を掲載しています。

各議員の賛否結果

議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

議案番号	高志会					鷺ヶ巣会				新緑会				令和新風会			至誠クラブ				賛否結果	
	尾形修平	小杉武仁	長谷川孝	鈴木一之	魚野ルミ	大滝国吉	鈴木いせ子	山田勉	河村幸雄	菅井晋一	上村正明	富樫光七	姫路敏	川村敏晴	髙田晃	佐藤憲昭	渡辺昌	富樫雅男	三田敏秋※1	野村美佐子	賛成	反対
議第121号	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	×	※2	○	○	○	○	―	○	16	1
議第134号	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	×	×	○	×	※2	○	○	○	○	―	×	13	4

※１　議長は地方自治法第 116 条第２項の規定により表決に参加していません。
※２　欠席したため表決に参加していません。

請願の審議結果

請願は本会議で採決が行われ、過半数の賛成により採択されます。

件　名	紹介議員	付託委員会	審議結果
非核三原則の堅持を求める意見書の採択を求める請願書	菅井　晋一 野村美佐子	総務文教常任委員会	採択
非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出を求める請願	髙田　　晃	総務文教常任委員会	採択

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、委員全員の了承により、願意了承となります。

件　名	所管委員会	審査結果
「私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上をはかるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	総務文教常任委員会	願意了承

意見書

◎非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

◎私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上を図るため、私学助成の増額・拡充を求める意見書

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。

↑意見書の閲覧はこちらから

討論

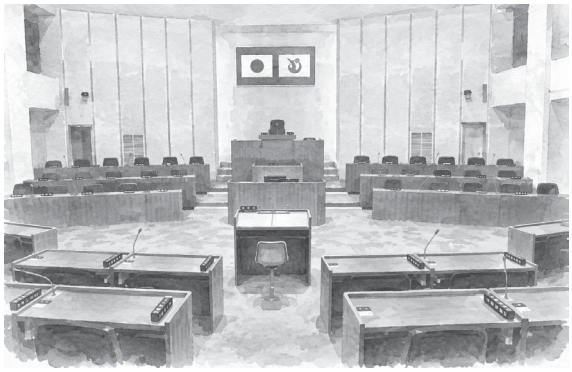
議第121号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第４号）

○ 賛成

歳入・歳出ともに、適時有効な予算編成がなされたことは大いに評価される。しかし、道の駅朝日リニューアル工事では、完成が遅れ事業費が約７億円の増となり、継続費の変更も必要となった。工事発注について、抜本的な体制整備を念願する。（菅井晋一）

× 反対

道の駅朝日リニューアル整備事業について、今回の設計ミスでは約７億円の追加工事が必要となる。しかし、これまで議会全員協議会などにおいて、議会に対して市長自らの詳細な説明は一度もなく、議会を軽視しているような事案には反対するしかない。（姫路　敏）



議会活動レポート

8/17 総務文教常任委員会

あさひ小学校統合に向けて

学校教育課及び同校教頭の同席のもと、学校統合（村上市立あさひ小学校）の進捗状況に関する事務調査を実施しました。

統合に伴う取組と教育目標は

両校の良さを活かし「朝日三面川太鼓」等の伝統文化を継承するとのことでした。

教育目標は「しなやかに・温かく・たくましく」とし、変化の激しい現代社会において多様性を理解し主体的に成長する児童の育成を目指すものです。

改修計画の変更と施設整備

物価上昇に伴い、体育館外壁工事面積や駐車場・進入路計画を調整し、雨漏りは屋根を鋼板で覆う安価な工法への変更を予定していました。防犯フェンスは計画通り設置し、有害鳥獣対策として、地域と連携し校舎東側の樹木の間伐も実施するそうです。

通学体制・跡地活用・統合方針

スクールバスは5系統を運行予定で、乗降場所やルートは協議中であるほか、閉校後の小川小学校はサウンディング調査を実施予定とのことです。

また、複式学級導入に伴う存続案に対し、市教委からは整備方針通り、速やかに統合を検討する方針が示されました。

校舎内現地視察から

修繕予定箇所を確認したほか、建物に囲まれた校舎中央の広場では普段の遊び場としての利用に加え、付近で有害鳥獣の目撃情報があった際の遊び場としても活用されていました。



8/10 市民厚生常任委員会

看護師不足の現状と課題

看護師不足の現状と課題に関して、保健医療課と県看護協会から説明を受けた後、今後の支援策等について意見交換を行いました。

看護師不足の主な要因

夜勤や救急の現場を希望する人材の減少や、良いことですが産休・育休制度の充実による勤務時間の縮小などが挙げられました。また、県内では看護師養成学校の生徒確保も課題となっており、村上看護専門学校の募集停止など、今後の看護師確保への影響が懸念されています。

人材確保への課題と対策

離職時の届出制度、新卒看護師の採用状況、奨学金制度、認定看護師の資格取得支援、施設間の兼務やスポット勤務などについて質疑が行われました。

離職時の届出制度では、離職者の約3割が届け出ており、再就職を希望する人は希望に沿った職場に再就職できているとの説明がありました。市内5病院の8年度新採用者は計14名程度で、各病院で一定期間勤務すると奨学金の返還が免除される独自制度があるほか、月額5万円を貸与し、県内指定医療施設で5年間勤務すると返還免除となる制度があるとのことです。

また、看護師不足への対応には人材確保だけでなく、養成や離職後の再就職支援、資格取得支援、看護補助者の活用に加え、柔軟な勤務形態の導入など、多方面からの取り組みが必要であることが示されました。



議会活動レポート

7/27 経済建設常任委員会

大型事業の進捗状況を確認

市営中川原住宅建替え事業及び瀬波温泉地域活性化施設（旧香藝の郷）整備事業について、現地調査を実施しました。

市営中川原住宅の建替え

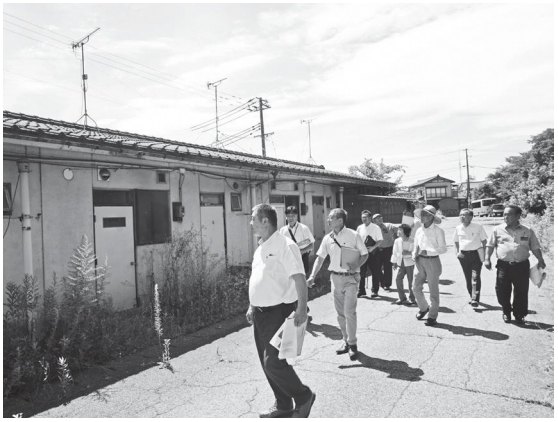
住宅やその周辺状況を確認し、質疑を行いました。事業費抑制に向けて、植栽部分の取りやめや共用部分の一部壁材、建具の見直しなど13項目、設計段階で約7千万円ほどの抑制を検討しているとのことです。また、建替え後の家賃などについて、8月から9月に現入居者を訪問し、工事スケジュールや家賃の比較等を説明する予定とのことです。

瀬波温泉地域活性化施設の整備

瀬波温泉地域活性化施設（旧香藝の郷）で現建物の内部も視察した後、質疑を行いました。今後の整備や運営に向けて、商工会議所を中心とし、食品加工業、観光体験提供業、旅館業、飲食業など地元事業者28者とこれまで協議してきたとのこと。また、建物は市の普通財産のまま、運営事業者に継続して貸し付けし、SIB事業（※）の契約期間終了後は運営事業者の独立採算で施設運営を継続していくこととなるとの説明でした。

現地視察から見えたもの

いずれも事業開始が待たれるため、必要最小限の維持管理状況となっていたが、事業が進む中で公営住宅入居者や活性化施設関係者などへの効果が表れることを期待し、委員会でも引き続き注視していきます。



※SIB事業（ソーシャル・インパクト・ボンド）とは?
行政が抱える社会課題の解決を目的とし、民間資金とノウハウを活用して行う官民連携の仕組み

10/5～10/6 福井県鯖江市を訪問

姉妹都市との交流を深める

三田議長、大滝副議長をはじめ、議会運営委員長や各常任委員長ら10名の議員が姉妹都市である福井県鯖江市を訪問し、鯖江市議会の皆さんと親交を深めました。

江戸享保期に村上藩主の間部氏が国替えとなり初代鯖江藩主となった縁から、本市と鯖江市が昭和56年に姉妹都市を締結して以来、30回以上に渡り相互訪問を行っています。

課題と取組を共有

一日目は、「防災と空き家対策に係る研修会」を開催いただきました。本市も4年8月の豪雨災害で被災し、さらに本年8月下旬には福井県を含む、北陸地方でも大雨災害が発生しています。それぞれの取り組みを共有することで、緊急時の共助体制の構築にもつなげる必要を改めて認識しました。

その後、間部氏の菩提寺である萬慶寺を参詣し、7代藩主の間部詮勝公が描いた天井墨絵（鯖江市指定文化財）を拝見しました。

二日目は、本年3月に竣工した、鯖江クリーンセンターを視察しました。本施設は、公設民営方式によるごみ処理施設です。循環型社会実現に向けた鯖江市の取り組みをご教示いただきました。

これからも大事にしたい交流

両市は、スポーツや商工分野などでも交流が継続して行われており、改めて両市の多岐にわたる課題解決のためにもこのつながりを大事にしていきたいと感じました。



シリーズ

この人にインタビュー vol.54

スキー場に遊びに来てください！

ぶどうスノーリゾート株式会社 シンクファースト
代表取締役 沼前（ぬまえ） 純一（じゅんいち） さん



ぶどうスキー場との出会いもキャンピングカーがきっかけでした。

●自己紹介をお願いします

東京で中小企業のＩＴ会社の社長をしております。エンジニアも兼任しており、これまでプログラマーやシステムエンジニア等の職種で業務システムを作成していました。

家族構成は４人家族で妻と娘２人と愛犬１匹です。私の趣味はスキーやスノーボードです。

●村上市や、ぶどうスキー場を知ったきっかけは

新潟県や長野県のスキー場にはよく通っていました。ぶどうスキー場が閉鎖になるニュースを聞いて一度は滑ってみたい思いが強くなり、東京から片道６時間以上かけ、営業最終日に訪問しました。

●実際に事業を始めてみた感想は

ある程度想定はしていましたが、スキー場をオープンさせるために多額の費用がかかり、物価高の影響もあり厳しい状況です。改善できる部分も多く感じており、取り組みを加速していく思いです。

●今後の夢や展望は

スキー場を５年後、10年後も継続できるようにしたいです。今後、リフト等の大型設備の更新が必要で、そのためには利益が出せるよう努力を続けていきたいと思います。今年は支配人としてゲレンデの草刈・圧雪・除雪作業等も自らが行う予定です。

●村上のみなさんに一言

単身赴任ですが、10月から村上に拠点を移しました。住民票を移すかは検討中ですが、ホームは「村上」になります。

今年は少雪の心配がありますが、土日・祝日・年末年始は、村上市の小中学生はリフト券無料を実施します。ぜひスキー場に遊びに来てください。

令和８年 １２月定例会のお知らせ（予定）

11月17日(火)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
12月 1日(火)	定例会初日（本会議）
3日(木) 4日(金) 7日(月)	一般質問（本会議）
8日(火)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
9日(水)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
10日(木)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
15日(火)	一般会計予算決算常任委員会
18日(金)	定例会最終日（本会議）

＊この日程は変更されることがあります。　＊開会時間は午前 10 時です。

議会改革 議員のなり手不足に関するアンケート

～より活発な議会活動の実現に向けて～

全国的に市町村議会議員のなり手不足が取り沙汰されており、本市議会としても今後の課題の一つと考えています。皆さまからの御意見をお聞きするため、アンケートを実施します。

御協力いただける方は、右下の二次元コードから電子申請システムで御回答ください。

なお、回答は本調査の目的以外には使用しません。

アンケートはこちらから→

むらかみ 市議会だより 2026年 11月1日号

発行／新潟県村上市議会
発行責任者／村上市議会議長 三田 敏秋
〒 958-8501 新潟県村上市三之町１番１号
TEL/FAX 0254-53-3219（直通）
メールアドレス gikai@city.murakami.lg.jp

お詫びと訂正：市議会だより第 88 号 10 ページの議案名に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
（正）議第 93 号～ 95 号　財産の取得について　（誤）議第 93 号～ 95 号　財産の所得について
（正）議第 97 号　令和８年度村上市公共施設照明設備ＬＥＤ化業務委託契約の締結について
（誤）議第 98 号　令和８年度村上市公共施設照明設備ＬＥＤ化業務委託契約の締結について